

この一年を振り返って

3階東病棟婦長 益 塚 典 子

当病棟の特徴として

1. 主に手術を目的とする急性期の患者さんが多い。
2. 高齢化の傾向にある。
3. 難聴、意識障害、失言症など言語的コミュ

ニケーションがはかりづらいケースが多い。

このような中、看護するにあたり、観察は、とても重要な意味をなすと考え、根拠となる基礎知識を学んだ。実施した勉強会は以下の通りである。

実施日	テーマ	内容
4 / 1 4	意識障害患者の診かた 【窪田 D r】	資料をもとに、意識、運動レベルの判定、瞳孔の診かたについて学んだ
5 / 1 6	第1回心電図について 【久保田院長】	資料をもとに心電図の基礎知識を学んだ
5 / 2 0	第2回心電図について 【久保田院長】	資料をもとに心電図の基礎知識を学んだ
7 / 1 7	第3回心電図について 【久保田院長】	資料をもとに心電図の基礎知識を学んだ
7 / 3 1	ストーマケアについて 【軽部 ns,角淵 ns】	院外研修で学んだ2名の ns により、資料やストーマケア 用品を見ながらストーマケアに必要な基礎知識、技術を学んだ
9 / 2 4	第1回救急蘇生法 【笠井 D r】	資料をもとに 救急蘇生法に必要な基礎知識、技術を学んだ
1 0 / 7	第2回救急蘇生法 【笠井 D r】	資料をもとに 救急蘇生法に必要な基礎知識、技術を学んだ
1 0 / 2 1	第3回救急蘇生法 【笠井 D r】	資料をもとに 救急蘇生法に必要な基礎知識、技術を学んだ
1 1 / 2 0	第4回救急蘇生法 【笠井 D r】	資料をもとに 救急蘇生法に必要な基礎知識、技術を学んだ

日勤業務が終了していなかったため、参加できなかったことも考えられるが、全体的に参加人数が少なかった。

H 10 年度は、「患者さんとその家族に適した看護を展開する」「言葉を正確に使う」と言う、病棟の目標に向かい、スタッフ自ら興味と意欲を持ち、参加できるようなテーマを教育委員と共に検

討していきたい。

又、自ら行った看護への振り返り、評価として「ケースカンファレンス」や「接遇」「記録」「経年別に応じた研修」についても実施していきたい。

今年度は、新病棟増設に向けて、各委員会を設置した上で業務改善し、時間外を減らすと共に、質的な向上を目指したい。